

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 4 年 12 月 8 日(2022.12.8)

【公開番号】特開 2022-177219(P2022-177219A)
【公開日】令和 4 年 11 月 30 日(2022.11.30)
【年通号数】公開公報(特許)2022-220
【出願番号】特願 2022-150931(P2022-150931)
【国際特許分類】

H 0 4 N 1 9 / 5 9 3 (2 0 1 4 . 0 1)

10

【 F I 】

H 0 4 N 1 9 / 5 9 3

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 30 日(2022.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

符号器の少なくとも 1 つのプロセッサが実行する方法であって、
ビデオ映像を符号化して復号器へ送信するステップを有し、当該方法は、更に、
前記少なくとも 1 つのプロセッサが、
前記ビデオ映像の映像シーケンスの複数の参照ライン間のイントラ予測によって、前記
映像シーケンスの復号を実行するステップと、
前記複数の参照ラインのうち、前記イントラ予測の現在のブロックに最も近いゼロ参照
ラインに対して、複数のイントラ予測モードを決定するステップと、
参照ラインインデックス値に基づいて、最確モードリストの長さを決定するステップと

30

、
前記複数の参照ラインに含まれる 1 つ以上の非ゼロ参照ラインのうちの 1 つに対して、
前記最確モードリストに含まれる少なくとも 1 つの最確モードを決定するステップと
を含む方法。

【請求項 2】

前記非ゼロ参照ラインについて、前記現在のブロックの最確モードインデックスがシグ
ナリングされる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記非ゼロ参照ラインのための前記少なくとも 1 つの最確モードが、最確モードリスト
に含まれ、

40

前記非ゼロ参照ラインのいずれか 1 つに対応する前記最確モードリストから、平面モー
ド及び DC モードのうち、少なくとも 1 つが除外される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ゼロ参照ラインの前記最確モードリストの長さは、前記非ゼロ参照ラインの前記最
確モードリストの長さとは異なる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記非ゼロ参照ラインのための前記最確モードリストの長さは、前記ゼロ参照ラインの
最確モードリストの長さより 1 つ短い、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ゼロ参照ラインに対する最確モードリストの長さは 6 であり、前記非ゼロ参照ライ

50

ンに対する最確モードリストの長さは 5 である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

コンピュータプログラムコードを記憶するように構成された少なくとも 1 つのメモリと

、

前記コンピュータプログラムコードにアクセスして、前記コンピュータプログラムコードによって命令された通りに動作し、請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の方法を実行するように構成された少なくとも 1 つのハードウェアプロセッサと

を備える装置。

【請求項 8】

コンピュータに請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の方法を実行させるためのコンピ
ュータ・プログラム。

10

20

30

40

50